

平成24年 9月14日(金) 発行



高 大 附 高 だ よ り

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



※平成24年新校舎建設に着工

第70号
2012・9

ご挨拶



父母の会会長
下川 強

平成二十四年度、父母の会会長を務めさせていただきます、下川と申します。どうぞよろしくお願いたします。

五月に開催されました父母の会及び部活動後援会の総会、そして、六月末から七月中旬にかけて行われました学年・学級懇談会では多くの会員の皆様にご出席いただき、無事終了することができました。改めまして、御礼申し上げます。江戸時代に佐藤一斎という儒学者がいました。その著書「言志晩録」にこんな言葉があります。「少くして学べば、則ち壮にして為すこと有り。壮にして学べば、即ち老いて衰えず。老にして学べば、即ち死して朽ちず」

人間いくつになっても学ぶことが大切ですよ、と説いている、と私は理解しています。

ただ、ここでいう「学ぶ」こと

の意味は、例えば高校生であるなら、教室での勉強のみならず、部活動の中で人間関係や、努力することの意味を学ぶこと、社会情勢を知り自分がどうありたいか、多くの書物から歴史や真理を学び、様々な識者の考えを吸収し、心を育て、最終的には自己を高めることに他ならないと感じています。

「時は金なり」という言葉がありますが、「時は命なり」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。我々人間は限られた時間の中で生きています。ですから、この一瞬さえも、命を削っていることに他なりません。

高校生でいられる時間は極僅かです。限られた時間の中で与えられた貴重な三年間を大切に過ごして欲しいと思います。

その手助けが一つでもできれば父母の会として、こんな嬉しいことはありません。

結びに、商大附高及び関係各位の益々のご発展とご多幸をご祈念申し上げます。



ご挨拶



理事長・校長
森 本 純 生

平成二十四年度は普通科三百一十一名総合ビジネス科八十五名の四百六名の新入生を迎えました。去る五月十九日の総会におきまして旧会長藤藤宗一様から新会長下川強様へとバトンが渡されました。旧役員の皆様には大変お世話になりました。新役員の皆様にはどうぞ宜しくお願い申し上げます。

学校は一年が経つのが早いと言われます。今年も既に五ヶ月が経過しました。六月末から七月にかけて開催の学年学級懇談会も所期の成果をあげられて終了しました。各学年それぞれの行事やオープンスクールなどの学校行事も順調に運び、二学期を迎えております。

今年も三年続きの猛暑の夏でしたが、更に熱くしてくれたのがロンドンオリンピックでした。史上

最多の38個のメダル獲得の日本の活躍は日本国民に大きな喜びを与えてくれましたが、私にとって大きな感動はバレーボール女子の銅メダルでありました。全日本選手として活躍していた本校卒業生の石田瑞穂選手が補欠選手としてロンドンに帯同し、メダル獲得に貢献したことであります。「真鍋監督が頼りにする13番目の五輪選手」と新聞に報道されたり、試合後のテレビの中で迫田選手が背番号13番のユニフォームを下に着て一緒にプレーをしたとのコメントなどにあつたように、日本チームの一員としてサポート役に徹したことを賞賛したいと思います。

オリンピックと平行して開催されておりました、インターハイに新潟県・富山県に応援に行かせていただきました。結果は別記の通りでありましたが、本校チームは各種目共に、全国大会常連の強豪チームとして他校にマークされる存在になっておりますことは大変誇りに感じ、選手の皆さんの並々ならぬ努力の結果と心より喜んでおります。

夏休み中のもう一つの大きな話題が「いじめ」でありました。現

在も日本各地から「いじめ」の報道がされ、各方面からいじめ対策が語られております。二学期の始業式で本校を絶対に「いじめ」の無い・明るい・フェアな学校にするよう、生徒・教職員全員で全力で取り組みましようと話を感じました。父母の会の皆様のご家庭での協力とお力添えを宜しくお願い申し上げます。

学年委員長挨拶

三学年委員長 高瀬 英雄

今年度三学年の学年委員長を務めさせて頂きたくします高瀬と申します。宜しくお願いいたします。

過日は父母の会総会、学年学級懇談会へのご出席、ありがとうございました。半年後、新しいステージに立つ子ども達へエールをおくるべく、保護者の私も多くのことを勉強させて頂きました。皆様におかれましてはいかがでしたでしょうか？

高校三年生の夏が終わり、いよいよ次の進路へ向かうための本格的な準備を、各々がはじめたとこ

ろでしょうか？高い目標に向かって、努力を継続するもの、高校生活において日々重ねたものを秋に収穫する準備を整えるもの、未だ定まらぬもの、様々だと思います。ただ、高校を卒業すると、いかなる道に進んだとしても、家族と過ごす時間はグッと少なくなるということは確かです。

自分の夢に向かって努力を続けることはもちろん大切ですが、支えてくれている家族への感謝の気持ちを忘れず、残りの高校生活を送ってもらいたいものです。

皆さんの夢や希望が叶うことを心から願っております。

二学年委員長 今井 敏博

昨年に引き続き学年委員長をさせて頂きます今井です。よろしく

お願いいたします。一学期に行われました学年学級懇談会では、各会場に分かれて進路説明会が行われましたが、保護者の皆様もお子様の今後の進路決定において大変参考になったと思います。家庭内においてお子様と向き合ってお話をなさった保護者の方々も数多くいると思います。二年生という時期は生活面、学習面において大

変大切な時期であります。生徒自身が自覚を持ち将来についてよく考えて目標を持ち、それに向けて努力を続けていく事が大切であります。しかしながら思春期の中にある生徒は楽しい学生生活、友達との交流に夢中になり、なかなか自分の進路についてまだ真剣に考えていない生徒もいると思います。是非学校内学級内で生徒達が進路について気軽に話せる環境、雰囲気

一学年委員長 吉原 秀忠

一学年の学年委員長を務めさせて頂きたくになりました吉原と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

さて、今年度の共通のテーマが「充実した高校生活を送るために」ということですが、一学年の皆様はこれからの高校生活をどう充実させるか考えてみましたか？一学年は高校生活の基盤となる大切な学年です。また将来の目標が決まっ

ていない人も多いと思うので、ただ漠然と日々を過ごすのではなく、勉強や部活に目的意識を持ち取り組み、将来の自分の目標につながる何かを見つけてもらいたいと思います。

皆様は宝石の原石です。今までの義務教育では親や先生にその原石を磨いてもらえたことが多かったと思いますが、これからは自身でその原石を磨き上げる努力をし、一人ひとりそれぞれの色・形・輝き・など特色を出してもらいたいと思います。若い力は可能を可能にすることが出来ます。そして、努力は必ず報われます。ぜひ、これからの高校生活を有意義に送りたくましく成長していただきたいと思ひます。

また私どもは保護者として、先日行われた学級懇談会をはじめ、様々な学校行事で家庭と学校との連携を密にし、子どもたちが充実した高校生活を送れるようサポートをしていきたいと思います。

最後になりますが、生徒の皆さんのこれからの活躍をお祈り申し上げ一学年委員長としての挨拶とさせていただきます。

出席者感想

普通科特進三年 工藤 登紀子

三年生は、学年統一テーマ「進路達成に向けて」ということで、全体会では、ライセンスアカデミーの宇佐美正利さんの進路講演会がありました。進学においては、進学の目的を明確にし、入れる大学ではなく、入りたい大学に向って受験校勉強をすること、また家庭からの支援として、受験生のいる家にする環境作りが大切。就職関係では、長引く不況で、企業での社員教育の余裕はなく、即戦力になる人材を求めている。また、フリーターという職業はない、希望通りの職種でなくても、まずは正規雇用のチャンスをつかみ取るのが最も重要であるとお話をお聞きし、まさに世相を反映していると感じました。

学級懇談会では、担任の土本先生より、入試に関する詳しい説明をして頂き、知らなかった情報もあり、大変有り難かったです。

入試本番まであと半年となりましたが、子ども達には悔いの残ら

ないように頑張ってもらいたいと思います。そして来春には、全員が満面の笑顔で卒業の日を迎えられることを心より願っています。

普通科進学三年 佐藤 正子

第三学年の懇談会が「進路達成に向けて」というテーマで、六月二十四日に行われました。

第一部の全体会では、ライセンスアカデミーの宇佐美正利様をお迎えし、進路講演会が行われました。お話しの中で受験生の意識、づくりや受験までの生活習慣を決めることが大事、親と子の距離感が必要とか部活動を引退してからの子どもに対する対応等、本当に共感ができ考えさせられることばかりでした。

第二部では、学級懇談会が各教室で行われました。担任の先生より「進路達成に向けて」詳しく説明を頂きました。

これからの受験までの数カ月間、希望した進路に進めるよう子どもと向かい合い、「進路達成に向けて」後押しが出来ればと思います。

情報経理科三年 田 中信子

三年生の懇談会は、六月二十四

日「進路達成に向けて」をテーマにライセンスアカデミーの宇佐美先生の講演でした。進路を決める時期に先生の具体的なお話に真剣に耳を傾けられる父母達の姿がとっても印象的でした。先生のお話の中で進路を決める事を通し卒業までの「あと半年お子さんをかまっておいて下さい」と言われた時に母親として考えさせられました。忙しさを理由にきちんと娘の話しを聞いてあげていたかと反省しました。今年の夏休みは娘とゆっくり過ぎ進路について話し合いたいと思いました。

国際情報科三年 宮代 里香

三年生学級懇談会が六月二十四日に行われました。「進路達成に向けて」を学年統一テーマとし全体会では、ライセンスアカデミーの宇佐美先生による進路講演会がありました。進路を控えた子どもとの関わり方や家庭でのコミュニケーションの大切さなど具体的な例を出しながらお話があり、子どもが「自分で決めたのだ」という気持ちになれるようにサポートしていこうと思いました。

学級懇談会では、担任の先生か

ら今後の日程や入試に関する詳しい説明がありました。また進路に向けてクラス環境がとても良いとお話がありました。国際情報科としては最後のクラスになります。三年間、同じ仲間と過ごせたこと、また信頼できる先生に恵まれたことに感謝しています。卒業まであとわずか、目標達成できるように頑張ってください。

普通科特選二年 松田 博子

二年生の学年・学級懇談会は進路講演会から始まりました。各会場では講師の方から進路決定に向けての様々なアドバイスをいただきました。オープンキャンパス参加の重要性、受験の形式や卒業後の就職状況などを具体的に説明していただき、大変有意義な時間を過ごしました。

第二部の学級懇談会では、山田先生からクラスの様子や今後の行事予定などのお話があり、その後各グループに分かれ、家庭学習の様子や進路についての親子のコミュニケーションの状況などを話し合いました。子ども同士が仲良しのグループということもあり、和気あいあいとした雰囲気の中で子

ども達の家や学校での様子を話す姿があちこちで見られました。

今回、家庭学習、親子のコミュニケーション、そして目的を持つことの大切さなどを確認しました。本来、中だるみの状態に陥りやすいこの時期に、今後のことを考えたり、親子で向き合って話をしたりする一つのきっかけとなり、参加をして本当に良かったと思っています。

普通科進学二年 高橋 陽子

高校生活二年目を迎え、進路について真剣に考えなくてはならない時期となりました。その上においては、今回の学級懇談会は、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。参加された父母は五から六名のグループで、それぞれ各家庭において、どのような状況又はどのような不安を抱いているのか話して頂きました。部活が忙しく話し合う時間がない、先輩からアドバイスを受けている、方向性は決まっているが果たしてそれがいいのかなど様々な意見が出されました。親として、今のような役割を果たすことが必要なのだろうか。子どもの将来像をしっかりと

見据えた上で、先生方から多くの情報を頂き、子どもと共に考える事の重要性に気づかされました。今回の懇談会が、子どもの進路について考える良いきっかけになったと思います。ありがとうございました。

総合ビジネス科二年 森田 由美

入学してから、今日まで、慌ただしくもありましたが、おかげ様で、無事、充実した日々を送らせて頂いております。

毎年、恒例の学級懇談会に参加させて頂き、今年は、「進路について考える」各会場にて、進路コース別にわかれ、講師の先生方のお話を聞きました。私は、就職希望コースでしたが、「子どもには、社会にでるための基礎力がとても大切、(挨拶、礼儀)」、「発想を持つ、(意見、アイディアなど)」、「やらせられてると思うな、やるしかない」等、沢山、身にしみるお話を聞きました。今の世の中の厳しさを本当の意味で解かって欲しいと思いました。

クラス懇談会では、六つのテーマで、五つのグループに分かれ、雑談を交えながら限られた時間で

はありましたが、とても、有意義に、和やかに過ごさせて頂きました。

最後に、難しい年頃の子ども達を時には厳しく、温かく愛情を持って、ご指導頂きありがとうございます。これからも、親として、子どもの成長をしっかりと見守っていきたくです。今後も、ご指導よろしくお願ひ致します。

普通科特選一年 黒澤 浩美

一学年の学級懇談会が七月八日に行われました。第一部の全体会では、毎日の学習の積み重ねが三年後の進路選択にとても重要である事を痛感しました。

第二部の学級懇談会では、班に分かれ自己紹介をしながら入学後、三ヶ月たった子ども達の様子や気になる事などを話し合いました。

高校生となり、保護者間の係わりがあまりなくなり仲の良い友達もわからないこともありですが、普段、仲の良い子ども同士の班を先生に作っていただき親同士の親睦も深められ、また同じ悩みを持っていることもわかり安心しました。限られた時間でしたが、和やかに

懇談でき、とても有意義な時間を過ごすことが出来ました。

また、このような機会がありましたら出席したいと思えます。子ども達が充実した高校生活を送れる様、応援していきたいと思いました。

普通科園文化コース一年 黛 千 洋

学年統一テーマ「充実した高校生活を送るために」について一年生の学年懇談会が行われました。

進路について大学は三極分化の傾向で、進路が未定の場合は消去法で考える、子どもまかせにせず親子で一緒に考え家庭でのコミュニケーションが大切とお聞きし進路はまだまだ先だと思っていました。気を引きしめ将来に向けて話し合い目標を持って学校生活を送れる様に応援していきたいと思えます。また、海外研修の案内ではスライドや体験談をお聞きし、異文化に触れ沢山の方々に出会い貴重な体験を通して、色々な事を考え成長できるきっかけになるのではないかと感じました。

学級懇談会では子ども達の近況報告を発表しました。子ども達は皆希望にあふれ元気に登校し

ています。互いに協力し三年後の成長した姿を楽しみにしています。

普通科進学一年新井貴子

第一学年の懇談会は「充実した高校生活を送るために！」を統一テーマに開催されました。

学年懇談会では、校長先生より「頑張る子を応援します。」というお言葉を頂きました。入学後、生活のリズムも整わないまま早くも一学期が終わりました。親の不安をよそに、勉強に部活にと予想以上に全力で楽しく前向きに取り組んでいる我が子を思い、深く心に響くお言葉でした。

学級懇談会では、後藤先生より、クラスの様子や夏休みについてのお話の後、自己紹介も兼ね、家庭でのお話を出席保護者全員から聞く事が出来ました。まだ慣れないながらも本当に楽しく学校生活を送っていると多くの方々からお話があり、大変有意義な時間を共有することが出来ました。

スタートしたばかりですが、子ども達がこれからも楽しく「充実した高校生活」が送れるよう応援したいと思います。

部活動後援会 平成23年度決算報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
会 費	23,526,000	23,836,500	△310,500	@1,500×15,891人(月平均 約1,324人)
入 会 金	2,435,000	2,435,000	0	@5,000×487名(新入生487人)
賛 助 費	3,300,000	3,300,000	0	父母の会 300万円 同窓会 30万円
寄 附 金 収 入	800,000	934,561	△134,561	自動販売機売上手数料
受 取 利 息	10,000	3,362	6,638	
前年度繰越預り金	4,789,225	4,790,280	△1,055	春高バレー預り預金・受取利息
前年度繰越金	3,067,332	3,067,332	0	普通預金 2,505,850円 現金 561,482円
合 計	37,927,557	38,367,035	△439,478	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差 異	備 考
大 会 費	16,000,000	14,069,454	1,930,546	全国(インターハイ青森・選抜 静岡・岡山)関東、県大会等
報 償 費	5,900,000	5,684,900	215,100	講師、コーチ等の謝礼
合 宿 費	1,300,000	1,076,240	223,760	強化合宿・校内合宿補助
備 品 費	2,100,000	1,825,508	274,492	吹奏楽楽器修理・サッカー部ユニホーム・防球ネット、他
強 化 費	2,800,000	2,117,052	682,948	強化大会等経費・講習会・施設利用料
渉 外 費	400,000	122,345	277,655	大会パンフレット協賛金、他
車 輛 運 営 費	1,300,000	1,128,239	171,761	車輛燃料代、マイクロリース料
車 輛 償 却 引 当 預 金	1,000,000	1,000,000	0	特別繰越金
部 活 動 振 興 基 金	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
雑 費	30,000	0	30,000	
[予 備 費]	100,000	0	100,000	
預り金次年度繰越金	4,789,225	4,790,280	△1,055	春高バレー普通預金 4,790,280円
次年度繰越金	208,332	4,553,017	△4,344,685	普通預金 3,279,445円 現金 1,273,572円
合 計	37,927,557	38,367,035	△439,478	

※寄附金収入について 校内に設置してあります自動販売機は購買部で管理していますが、売上手数料につきましては部活動後援会に寄附をして頂いております。

※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
部活動振興基金	前期末積立累計額 1,500,000	車 輛 償 却	前期末積立累計額 6,500,000
	当 期 積 立 額 2,000,000	引 当 預 金	当 期 積 立 額 1,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	3,500,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	7,500,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

部活動後援会 会長
部活動後援会 会計
事 務 局

”
”

父母の会 平成23年度決算報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位:円)

収入の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
会 費	15,684,000	15,891,000	△207,000	@1,000×15,891人(月平均 約1,324人)
入 会 金	2,435,000	2,435,000	0	@5,000×487人(新入生487人)
受 取 利 息	10,000	8,953	1,047	定期預金・普通預金
衛 生 費 収 入	1,332,000	1,332,000	0	@1,000×1,332人
車 輛 償 却 引 当 預 金 取 崩 収 入	3,000,000	3,000,000	0	車 輛 償 却 引 当 預 金 取 崩
前 年 度 繰 越 金	3,418,615	3,418,615	0	普通預金 1,454,255円 現金 1,964,360円
合 計	25,879,615	26,085,568	△205,953	
支出の部				
科 目	予算額	決算額	差異	備 考
備 品 費	650,000	582,750	67,250	第4校舎冷水機入れ替え(3台)
会 議 費	1,400,000	1,073,127	326,873	役員会・学年・学級懇談会経費
慶 弔 費	250,000	324,750	△74,750	香典・花輪・餞別
補 導 費	100,000	35,080	64,920	情報交換会・校外の生活指導費等
環 境 整 美 費	1,300,000	1,209,004	90,996	校舎校庭の整備・掃除用品・ゴミ処理代
保 健 衛 生 費	1,600,000	1,439,444	160,556	汚物処理・保健室薬品代等
旅 費 交 通 費	250,000	198,730	51,270	役員研修交通費
部 活 動 賛 助 費	3,000,000	3,000,000	0	部活動後援会の補助
通 信 費	50,000	3,187	46,813	会員連絡用切手・封筒印刷
消 耗 品 費	30,000	4,510	25,490	コピー用紙等
進 路 対 策 費	1,800,000	1,598,159	201,841	進路資料・2012年度版大学入試シリーズ・講演会
生 徒 会 事 業 協 力 費	1,800,000	1,252,175	547,825	芸術鑑賞(群響)・予備会・生徒会協力金
卒 業 生 記 念 品 費	300,000	253,552	46,448	卒業祝紅白餅
教 育 研 修 費	900,000	645,410	254,590	教職員研修補助
印 刷 費	700,000	604,800	95,200	商大附高だより・学年学級懇談会結果報告書
車 輛 運 営 費	1,900,000	1,496,053	403,947	車 輛 燃 料 代 ・ 車 輛 リ ー ス 代
車 輛 購 入 費	3,900,000	3,597,255	302,745	平成9年度フゴン車入換(内引当預金取崩300万)
諸 会 費	2,400,000	2,193,480	206,520	PTA連合会費・スポーツ振興センター負担金・他
雑 費	150,000	149,796	204	大会協賛パンフレット広告料等
創 立 110 周 年 記 念 事 業 費	2,000,000	2,000,000	0	特別繰越金
育 英 基 金 協 力 金	1,000,000	1,000,000	0	学園育英基金
[予 備 費]	100,000	0	100,000	
次 年 度 繰 越 金	299,615	3,424,306	△3,124,691	普通預金1,062,568円 現金2,361,738円
合 計	25,879,615	26,085,568	△205,953	

(注) 慶弔費の予算超過額については、他科目予算残高で科目間流用いたしました。

※特別繰越金

科 目	金 額	科 目	金 額
車 輛 償 却 引 当 預 金	4,600,000	創 立 110 周 年 記 念 事 業 積 立 金	7,000,000
	△3,000,000		2,000,000
合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	1,600,000	合 計 (当 期 末 積 立 累 計 額)	9,000,000

上記の通り決算報告致します。

高崎商科大学附属高等学校

父母の会 会長

"

父母の会 会計

"

事 務 局

父母の会総会報告

平成二十四年度高崎商科大学附属高等学校「父母の会、部活動後援会総会」が五月十九日(土)午後二時から本校講堂にて開催されました。藤縄会長、学校長より挨拶、学園の近況報告があり、議事に入り、事務局より平成二十三年度事業報告、決算報告、監事より監査報告がありました。審議の結果承認され、続いて本部役員の改選にて平成二十四年度の新会長に下川強氏が選出されました。副会長三名以下総勢三十六名の役員が

父母の会本部役員 (部活動後援会本部役員)

会長	下川 強 (K3-1)
副会長	高瀬 英雄 (F3-7)
書記	今井 敏博 (F2-8)
書記	吉原 秀忠 (F1-7)
書記	石綿 綾子 (F3-4)
書記	五十嵐 栄子 (F2-1)
書記	野口 務 (学校職員)
書記	佐橋 一弘 (F3-7)
書記	高井 則和 (F2-9)
書記	若藤 裕紀子 (F3-1)
書記	原野 浩志 (F3-2)
書記	大谷 哲雄 (F3-3)
書記	大藤 正子 (F3-5)
書記	佐藤 正みどり (F3-6)
書記	金山 恵子 (F3-8)
書記	大川 千春 (J3-1)
書記	中島 信子 (K3-1)
書記	石綿 佳子 (K3-2)
書記	中田 由紀 (F2-2)
書記	諏訪 工美 (F2-3)
書記	神戸 一美 (F2-5)
書記	朝香 純子 (F2-6)
書記	木村 美恵子 (F2-7)
書記	高橋 久子 (F2-10)
書記	佐藤 弘子 (F2-11)
書記	北田 多賀子 (S2-1)
書記	森田 由美 (S2-2)
書記	清水 美香 (S2-3)
書記	樋口 明和 (F2-9)
書記	寺沢 宏志 (F2-4)
書記	宮下 登志 (F1-7)
書記	飯塚 明子 (F1-8)
書記	高見 佳子 (F1-3)
書記	小澤 智美 (S1-1)

選出、承認され、新役員を代表して下川新会長より挨拶がありました。続いて、平成二十四年度事業計画案ならびに予算案が提出され審議の結果、原案通り承認されました。最後に、父母の会、部活動後援会にご尽力頂きました、藤縄宗一前会長、退任された本部役員の皆様、学校長より感謝状及び記念品の贈呈があり、退任者の挨拶の後、会員の皆様のご協力ももちまして、無事に総会を終了することが出来ました。新年度の本部役員は別記の通りです。宜しくお願ひ申し上げます。

(書記 石綿綾子)

貴校に入学して早や数ヶ月。高校生活にもだいぶ慣れてきたよつです。小中学校の時とは違い、仲良くなった友達顔も名前も知らない現状です。

親である私も右も左も分からない中で、当の本人は苦しい受験生活からの開放感で今は高校生活を

一年生父母が語る

我が子に 望む 高校生活

普通科特選 井坂 弘子

エンジンイしてる!という感じですが。しかしそれだけではダメなのです。三年間はあつという間に過ぎてしまいます。振り返ってみれば高校受験もそうでした。一年二年と部活だけで身を入れて勉強をしなかった結果、三年の十二月頃から猛勉強をしてもやっぱり遅かったのです。だから同じ経験をしてほしくないのが三年後を見据えて一年生の内からこつこつと知識を身に付けて欲しいと思います。

今はまだ将来何になりたいかもわからないと本人は言っています。が、目標を早く見つけて中学校の三年間とは違う人生の中でも特に重要な高校三年間を後々後悔のないよう勉強にまた友達との交流にとすべてにおいて全力で挑んで欲しいと願います。

普通科特選 三栖 昌子

今年四月に入学し早いもので高校生活最初の夏休みを迎えます。自転車通学の距離が中学の数倍長くなり多少とまどいもありましたがバスや自転車を駆使し登校している姿を見て少し遅くなってきたかなと思います。高校の三年間は忙しくてあつという間に過ぎて

しまいます。忙しさに流される事なく全力で勉強し全力で学校行事に参加し、休養する時は充分休むといった「メリハリ」のある学校生活で規則正しい生活リズムや学習週間の定着につなげて欲しいと思います。これから第一志望大学合格を目指して勉強していきます。でもそれがゴールではなく高校も大学も人生の通過点にすぎないと思います。

これからの目標として将来どういう人間になりたいか、どういう職業に就きたいかという事を普段の高校生活の中でぜひ考えて欲しいです。自分なりの目標設定が出来、たとえ軌道修正があつたとしても先生や家族と話し合いながら目標に一步一步近づいて欲しいと思います。将来の目標について積極的に考え先生や友人と話し合い、活気に満ちた高校生活を楽しく送って欲しいと思っています。

普通科進学 飯塚 公明

あどけなかつた中学生から商大附の生徒となり、早くも四ヶ月が経ちました。我が子にとって学校の雰囲気、中学時代とは違う友達部活動での先輩や諸先生との新し

い出会いは、様々な思いがあると感じています。

今の高校生活は、我々親が過こしてきた時代とは違うものの、高校生での貴重な日々を、この時しか経験できないという点では、本質的には変わらないと思います。だからこそ、娘には学業や部活動での経験を通じ、試練や困難な事に対して、逃げださない人間に成長してほしいと感じています。

今後、高校生活が進むにつれ、いろいろなことで壁にぶち当たり、人知れず流す泪や悔しくて眠れない日もあると思います。そんな時は自分を信じ、仲間や先生を信じて、目標に向かって前に進んで行ってもらいたいと思います。

最後に、部活動で掲げている「雑草魂」で、諦めず強い精神でひた向きに努力し、後悔する事のないよう有意義な高校生活を送ってほしいと切望するとともに、親として側面から応援していきたいと思っています。

普通科国文 小島 美智子

「絶対ここに行く。」という本人の意志は固く、父親を説得しての入学となりました。

希望通りの高校生活を送る事が出来、たくさんの友達も作れた娘は毎日が楽しくてしょうがないといった様子で幸せそうな笑顔を見せてくれています。

先日学級懇談会の中でも御父兄の方々様に「学校が楽しいと言っている。」といった内容の話や聞き事が出て、娘の笑顔もうなずけると同時に入学させて良かったなあと思いました。

休みなんていらなないと思わせるくらい学校好きにさせてくれた先生やクラスメイト、そんな素敵な仲間巡りに出会ったことに感謝しつつ、ともに成長していつてほしいと思います。

夢や希望を持って選んだ学校です。その為の努力は惜しまないで下さい。楽しいことばかりではなく、地道な努力も必要です。

悔いのない高校生活を送って下さい。

この三年間は、とても貴重でも濃い時間だと思います。ただそれは、あつという間です。大切に過してほしいと思います。

総合ビジネス科 清水 茂奈

我が子が商大附高に入学してか

ら何かとバタバタ忙しくしていたせいか、あつという間に一学期が終了してしまいました。担任の先生、クラスメイトにも恵まれ、良い雰囲気の中で毎日勉強させていたでているのを聞きますと、自分なりに生活リズムをつかみ、部活も楽しく取り組み、充実した高校生活を送っている事がわかります。

「我が子に望む高校生活」とは、ひと言でいうと楽しく enjoy して三年間を過ぎて欲しいです。

我が子の人生の中で高校生活は一生の思い出となりますように、色々な人に出会い、色々な事を経験し、そして後悔する事のないよう有意義な高校生活を送って欲しいと願っています。

まだ進学するか、就職するかは決まっていませんが、たくさんの資格を取り、自分に合った進路を進んで行って欲しいと思っています。一生懸命頑張ってください。私達はいつとも応援していますよ！





特別進学選抜・特別進学コース 主任 大澤 香代子

特別進学選抜コース二期生を迎え、特選・特進コースは、三学年合計十一クラスという、大きな集団となりました。それに伴い、生徒の学力や希望進路、また興味・関心の幅や高校生活に求めるものも多様化し、いかに満足度の高い教育を提供できるのか、教員間で意見を出し合い工夫を重ねる毎日が続いています。

その中で、生徒に身につけて欲しい能力の一つに、「文章理解力」「文章表現力」があります。例え

ば数学や理科に於いても、「何を答えるよう求められているのか」「質問の意図がわからず、解答にたどり着けない生徒が少なくありません。模擬試験でも、記述式問題になると、途端に白紙が目立つようになるのは残念な事です。

そこで、その対策の一つとして、今年度より、毎朝十五分の「朝ドリル」の時間に、「朝日新聞」「天声人語」の書き写しノート」を導入しました。わずか六〇〇文字を通じて、多様な話題に触れることができ、語彙を増やし、文章構成力を学ぶ事のできる効果的な教材として、注目を浴びているものです。

現代は、フェイスブックやツイッターで、瞬時に不特定多数の人たちと、情報を共有し意見交換できる環境にあります。ともすれば、一時の感情や表面的なものになりがちです。これを機に、時間を掛けてまとめられた文章に触れる事で、学力としてだけではなく、言葉の背景や書き手の心を「理解する力」を養い、同時に「自分の心」と向き合い「表現する力」を養う機会になってくれればと願っています。

一学年進学コース主任

高橋 久雄

夏季休業も終わり一年生が本校に入学して半年が経とうとしています。一学期はまず高校生活に慣れることに重点が置かれていました。二学期からは授業の内容もさらに高度になります。高校生活とはどうあるべきか、もう一度考え、これからの高校生活を送って欲しいと思います。

高校に進学したということは義務教育以上の勉強をしたいという自分の意志で入学したということです。自分の将来について自分の力で人生の目標や意義を真剣に考え、しっかりと目標を自らの手で決めなければなりません。それには勉強するという心構えをしっかりと身につけることが必要です。勉強の計画を立てて予習復習を必ず実行し、授業は自分のために行われるものという心構えと態度で授業に真剣に取り組んで下さい。また苦しいこと、悩んでいることを率直に話し合える友達を作ることが大切です。クラブ活動はその大切な場となります。クラブ活動は結果を出すことはもちろん大

切ですが、そこで出会う新たな自分や仲間の良いところをたくさん見つけて、高校生活をより有意義で充実したものにしていくかが最も重要なことです。高校の時にしかできないクラブに入り、思いっきり努力することです。そうすれば高校生活というものが一層楽しいものになるし、いい思い出にもなります。

これらのことを高校生活の中に生かして三年間を有意義に本校で学ぶことを希望します。充実した高校生活になるか否かは自分自身の努力に、そして本校の一層の発展は生徒の双肩にかかっていることを強調しておきます。

二学年進学コース主任

安斉 義宏

今年の夏はオリンピック一色であり、多くの方々が日本選手の活躍する姿に声援を送り、興奮と感動に胸を躍らせたことでしょう。私もその一人であります。サッカーのなでしこJAPANや女子バレーボールの戦い。翌日は睡魔との戦いでもありました。

さて学校では夏休みも終え二期を迎えています。学年学級懇談

会では父母の皆様のご協力により大変有意義な会となりました。ありがとうございました。

二年進学コースにおいても四月から順調に滑り出しました。この進学コースは文武両道を目指すコースとして、たくさんの生徒が運動部や文化部に所属し、早朝から放課後遅くまで練習に励み頑張っています。試合の結果ももちろんですが、そこに向かう過程において、どれだけ直向きに真剣に取り組んだかが自信につながり、周りにも感動を与えていると思います。生徒たちは夏休み中もこの猛暑の中練習に打ち込み、その姿は本当にたくましく、そして清々しく思いました。そんな中、テレビや新聞紙面では連日のように「いじめ」の問題を目にしました。当事者はもちろんでしょうが、私も記事をみるたびに悲しく、いたたまれない気持ちになりました。同じ人間のなすべき行為が、片や喜びや感動を与え、片や悲しみや怒りを覚えるのです。出来るならば日常の生活が明るく、幸せに満ちた空間にしたいですね。

今年には学園祭や修学旅行という大きな行事があります。楽しく充

実した行事になるよう父母の皆様にもご協力をお願いしたいと思えます。

安全で安心して生活できる学校友情をはぐくみ規律あるクラブ、楽しく一生の思い出となるクラスをみんなで作り上げていきましょう。

三年進学コース主任

菊池弘幸

今年の夏は、猛暑かと思つたら低温に、そして西日本では水害が猛威を振りました。一方ロンドン五輪に世界が沸き、日本の政治が大きく揺れた夏でもありました。

ところで三年生の皆さんにとってこの夏はどのような夏だったでしょうか。高校生活最後の夏をたして制することができたでしょうか。当たり前のことですが夏休みは終わり、皆さんの努力は今後そう遠くないうちに結果となって表れてきます。そして、より納得のいく結果にするためにも今後の残された時間を無駄なく有効に使っていくことが大切になるのはいくまでもありません。すでに三者面談も終了し進む先はほぼ決まった生徒がほとんどだと思います。ま

た、就職の校内推薦会議、第一回の進学推薦会議も終了し、推薦で進路を考えている生徒たちの中には、残すところ面接だけという生徒もいるのではないのでしょうか。そのような生徒には、内定や合格を勝ち取った後はその後には備えた準備をしてもらいたいと思います。そしてこれから本番を迎える生徒には、最後まで諦めることなく力を出し続けることを強く期待します。一般入試まで考えるとまだ三か月以上もありますのでここから最後の勝負です。

今ふと思つたことがあります。

それは、一年生の時から生徒にはここが頑張りどころだと何度言ってきたらうということ、これが本当の最後になってしまったということ、やらねばやらねばと思つてはいたが結局出来なかつたということもあります。しかし、肝心なところでそれでは結果は出ません。今後同じような場面に何度も出くわすはず、そして常に、今回もダメだったではなんとも情けない人生になってしまします。どこかで自分の限界に挑戦する覚悟ができる人になってみたものです。

国際情報・国際文化コース主任
鈴木啓明

いよいよ夏休みも終わり、中だるみと言われる二学期が始まります。二学期は、学園祭等の行事もあり、少々あわただしい面もありますが、落ち着いて物事に取り組みむことができる学期でもあります。当然のことながら、三年生は進路達成に向けて、充実した夏休みを送つたことと思います。二年生もそろそろ進路というものを意識し始める時期だと思えます。そして、一年生は、一学期が終了し学校生活にも慣れたところで、現在の自分の生活をもう一度見直して欲しい時期だと思っています。

ところで、私が国際文化コースを担当し始めて、早くも五月が過ぎようとしていますが、この国際文化コース(国際情報科)の目標の一つに「国際感覚を身に付ける」というものがありますが、他のコースと比べて、かなり趣が異なり、私自身少々戸惑っているのも事実です。例えば、このコースは毎年留学生を受け入れています。今年度もフィンランドからの女子を一名(すでに六月末に帰国)と

デンマークからの女子を一名、二名の生徒を受け入れていきます。また、本校の生徒の留学も盛んで、今年度は総勢五名の生徒がすでに出国、あるいは出国の予定です。この生徒たちは一年間留学をしますが、卒業は他の生徒たちと一緒に卒業となります(三年生一名が留学しますが、三年生は帰国が卒業式に間に合わないので、帰国し次第の卒業となります)ので、そのつもりで迎えてあげてください。その他にも、海外の大学へ進学した生徒がいたり、現三年生にも海外の大学を目指している生徒もおります。このようなムードが、検定試験にも影響を及ぼし、今までは英語の検定と言えば英語検定でしたが、徐々にTOEICの受験生も出てきています。

もちろん、このような状況は、シンガポール、マレーシアへの修学旅行やブリティッシュヒルズ研修等も影響していると思います。が、社会全体が国際化し、国際感覚を身に付けた人材が求められていることも大きいと思います。

ぜひ、国際文化コースの生徒には、世界に目を向けグローバルな視点で物事を捉える能力・習慣を

身に付けて欲しいと願っています。そして、その為に我々教員も関係する研修や講演には積極的に参加し、必要な情報、役に立つ情報を提供したいと考えています。

将来に備えるということは、決して一朝一夕に出来ることではありません。まずは学校生活に対して、積極的・意欲的な取り組みを心掛けてください。期待しています。

総合ビジネス科・情報経理科主任

善如寺 孝益

本科の共通目標に「資格取得」があります。その意義について少し話したいと思います。

「資格でも取っておこうか」とか、「資格を取れば安泰だ」とよく耳にすると思います。この考え方は折角資格を取得してもあまり意味がないかも知れませんが、資格取得が目的のものになってしまっているからです。「資格は目的ではなく手段」だからです。資格自体は決してお金を生みません。お金を生む、つまり稼ぎとなるのは資格ではなくその人のキャリアでありスキルです。例えば医師資格を持つについても手術経験の少ない

医師に手術をしてもらいたいとは思わないでしょう。資格も同じです。いかに優秀な得点で試験をパスしても、そこに経験やスキルが無ければ意味を持ちません。つまり「資格は目的ではなく手段」であり、何かをするために足りない権利や知識を補うために必要なパスポートなのです。

資格は職種にも直結する側面もあります。年収が良さそうだからというその一点のみで職種や資格を選ぶのも避けたいと思います。報酬は人間のとても大きな行動原理のひとつではありますが、そこにやりがいや使命感がなければ、いかに大きな報酬を手にしても生生涯に渡って満足のいく達成感を得ることは少ないと思います。人気や報酬の大きさだけでなく、そこに自分自身の使命感ややりがいを反映することができる職種、資格取得が大切なのです。そうした意識で取得してこそ、「資格」が活かせるのです!

また、採用時の能力評価で最もつとより早いのが、「資格」です。資格取得者は、資格そのものに加えて、取得のための努力、自己啓発、仕事における前向きな姿勢な

ど様々な点が推測され、人物評価においても大きなプラスとなりえます。募集職種に直接関係がない資格であっても、人物評価においてそのプラス評価は同じです。

以上のように「資格取得」にはいろいろな意義があるので、さて、二学期の過ごし方はいかがでしょうか。今学期は資格取得など一年間を左右する大切な学期です。前向きにがんばりましょう。応援しています。

全学年対象学校 学校評価アンケート 集計結果について

平成二十三年度末におけるアンケート結果が出ましたので、ご覧下さい。傾向としては、全般的に落ち着いた学校生活を送られている印象を受けます。実施の最終年度だった「土曜講座」以外では、「学習時間」の項目が、D判定となっており、家庭学習時間が毎日一時間以上である生徒は、35%が該当していました。自分の希望進路を決め、そのために計画的に学習を始めれば、自ずと学習時間は一時間以上になってくるだろうし、

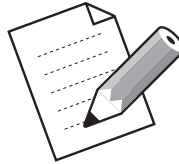
全学年対象学校学校評価アンケート結果

評価内容

- 4 … よく当てはまる
 3 … 当てはまる
 2 … あまり当てはまらない
 1 … 全く当てはまらない
 0 … 分からない

達成度

- A … 十分達成できた
 B … 達成できた
 C … もう少しで達成できた
 D … 達成できなかった



ある意味で「学習時間」は本人の進路目標が決まっているかどうかの指標にもなっているように思います。このアンケート結果を元に家庭において話題にしていただき、ご子女本人の進路目標について話し合う機会をもっていたいただければ幸いです。

● 生徒全体

No.	質 問	4	3	2	1	0	達成度
1	自分は2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	28%	49%	12%	2%	5%	A
2	自分は土曜講座を受講している。	13%	13%	7%	64%	4%	D
3	自分は「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	27%	44%	16%	4%	4%	A
4	自分は授業が分かり易く工夫されていると感じている。	10%	46%	29%	5%	13%	B
5	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	9%	29%	36%	13%	15%	D
6	自分は学習に対して満足感、達成感を持っている。	8%	39%	38%	7%	10%	C
7	家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	13%	22%	33%	29%	4%	D
8	自分は意欲的に学習に取り組んでいる。	11%	38%	37%	9%	7%	B
9	自分は高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	36%	48%	10%	2%	6%	A
10	登下校時や授業の開始、終了時に積極的に挨拶をしている。	27%	47%	21%	3%	4%	A
11	自分は、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	45%	35%	15%	4%	3%	A
12	学校から提供されている進路情報が役立っている。	14%	40%	28%	6%	14%	B
13	保護者は、生徒の将来の進路志望について理解している。	29%	46%	13%	4%	15%	A
14	自分は進路の適性をよく理解している。	17%	40%	23%	4%	18%	B
15	自分は進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	20%	39%	27%	5%	11%	B

● 保護者全体

No.	質 問	4	3	2	1	0	達成度
16	子どもは2年次からの教育課程に満足している。(2・3年のみ)	25%	48%	12%	1%	9%	A
17	子どもは土曜講座を受講している。	14%	13%	9%	60%	5%	D
18	子どもは「総合学習」「課題研究」に積極的に取り組んでいる。	18%	35%	22%	5%	16%	B
19	子どもは授業が分かり易く工夫されていると感じている。	9%	43%	30%	4%	16%	B
20	各科コースガイドが日常の学習に役立っている。	9%	41%	28%	6%	17%	B
21	子どもは学習に対して満足感、達成感を持っている。	11%	40%	33%	7%	10%	B
22	子どもは家庭学習時間が、毎日1時間以上である。	14%	23%	36%	24%	5%	D
23	子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	13%	35%	38%	10%	6%	C
24	子どもは高校生らしい服装、頭髪、言葉遣いをしている。	36%	49%	12%	2%	3%	A
25	子どもは、家庭内で積極的に挨拶している。	31%	43%	22%	3%	2%	A
26	子どもは、毎朝朝食をとり、生活のリズムが一定している。	47%	36%	14%	2%	2%	A
27	学校から提供されている進路情報が役立っている。	14%	48%	22%	5%	13%	B
28	子どもの将来の進路志望について私は理解している。	26%	47%	19%	2%	7%	A
29	子どもは進路の適性をよく理解している。	16%	47%	22%	4%	12%	B
30	子どもは進路実現に向けて積極的に取り組んでいる。	18%	42%	26%	6%	9%	B



2012北信越かがやき総体(インターハイ)、全国大会結果

クラブ名	期日	開催場所	成績
空手道部	7月30日 8月1日	新潟市東総合スポーツセンター	<ul style="list-style-type: none"> 女子団体組手 2回戦敗退 男子団体組手 1回戦敗退 女子個人形 大野 菜摘 (F3-8) 3回戦敗退 比企麻里奈 (F3-4) 3回戦敗退 女子個人組手 大谷津麻里 (J3-1) 1回戦敗退 比企麻里奈 (F3-4) 3回戦敗退 男子個人組手 高瀬 駿斗 (F3-7) 1回戦敗退 宮本 亮 (F3-3) ベスト16
アーチェリー部	8月3日 8月6日	吉田ふれあい広場特設アーチェリー場	<ul style="list-style-type: none"> 男子個人 榊原 優 (F3-3) 17位 松下 駿公 (F3-2) 33位 一場 広夢 (F3-3) 103位 北村 将寛 (F3-3) 175位 男子団体 7位 女子個人 遠間あずさ (F2-8) 17位 小川 千絵 (K3-2) 33位 宮下 真紀 (F2-5) 107位 朝倉 香那 (F3-9) 129位 女子団体 6位
フェンシング部	8月1日 8月5日	富山市総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> 女子個人フルーレ 小林 亜美 (F2-8) 予選敗退 女子個人サーブル 設楽ゆりあ (F3-4) ベスト16 女子学校対抗 1回戦敗退 (設楽・小林・高橋 (F2-10)・樺澤 (F2-11) 新井 (F1-6))
テニス部	7月31日 8月8日	大阪市 靱テニスセンター	<ul style="list-style-type: none"> 牛島 里咲 全日本ジュニアテニス選手権 16才以下女子シングルス 優勝
	8月14日 8月16日	新潟県南魚沼市 大原運動公園 テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> 牛島 里咲 ベスト32 1 R 勝 牛島 8-1 円本 (福岡・柳川) 2 R 勝 牛島 8-1 三原 (奈良・育英) 3 R 負 牛島 6-8 林 (福井・仁愛女子)
囲碁部	7月23日	東京日本棋院会館	<ul style="list-style-type: none"> 第36回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会 女子団体戦一次リーグ 1勝2敗
	8月7日 8月9日	富山県朝日町 文化体育センター	<ul style="list-style-type: none"> 第36回全国高等学校総合文化祭囲碁部門 女子個人戦 五十嵐のぞみ (F2-1) 44位 県混合団体戦 芦田 美幸 (F2-4) 41位
バトントワリング部	8月8日 8月10日	富山市街 水見市ふれあいスポーツセンター	<ul style="list-style-type: none"> 第36回全国高等学校総合文化祭(富山大会) パレード部門 マーチングバンド・バトントワリング部門 文化連盟賞
放送部	7月23日 7月25日	東京オリンピック 青少年センター	<ul style="list-style-type: none"> 第59回NHK杯高校放送コンクール全国大会 テレビドキュメント部門 「釜女より愛を込めて」 準々決勝 ラジオドキュメント部門 「良妻賢母」 準々決勝
	8月10日 8月8日	富山国際会議場	<ul style="list-style-type: none"> 第36回富山総文放送コンクール全国大会 ビデオメッセージ部門 「SLに愛を込めて」 文化連盟賞 オーディオピクチャー部門 「観音様を支える手」 文化連盟賞

編集後記

この夏に行われたロンドンオリンピックを真夜中に、また早朝に観戦された方も多かったのではないだろうか。印象的だったのは、ダブルスや団体(競技)でのメダル獲得でした。男女の水泳のリレー、体操の男子団体、女子のアーチェリー団体、女子の卓球団体、バドミントン女子ダブルス、

男女のサッカーそして女子バレーです。女子バレーは二十八年ぶりに銅メダルを獲得しました。本校の卒業生の石田瑞穂さんは、レギュラーの十二名には選ばれませんでした。レギュラーの控え選手として、オリンピックに同行し、レギュラーと一緒に、その調整に、応援にと尽力したそうです。東日本大震災から一年半が過ぎましたが、日本選手のオリンピックでの活躍ぶりから、日本全体が、大きな感動をもらったように思います。

さて本校では、この夏休み中に北信越で行われたインターハイに空手道部、フェンシング部、アーチェリー部、テニス部がそれぞれ出場し、男女のアーチェリーが第七位、第六位にそれぞれ入賞しました。また文化部では、放送部、囲碁部、バトントワリング部が全国大会に参加しました。

二学期の行事では、十月下旬に「商大附高祭」が校舎建設工事の関係で、「商大附高ホームカミングデー」と名前をかえて、内輪での実施が予定されています。ご家族お誘い合わせの上、ご覧いただければと思います。

最後に、「商大附高だより70号」に寄稿いただきましたご父母の皆様には感謝申し上げます。(高橋洋)



高崎商科大学附属 高等学校 マスコットマーク